

## 博多のまちを歩く

博多駅から地図を片手に歩いた。キャナルシティから中州、天神の方に向かった。まちの中心を那珂川などが流れ潤いを感じさせる。新日曜美術館で紹介されていた福岡アジア美術館は、アジアを感じさせる



展示が興味深かった。博多川端商店街には、ユニークな博多弁の垂れ幕がかかっていた。名古屋大須の名古屋弁の垂れ幕を思い出した。

商店街のはずれに櫛田神社がある。ここは7月に行われる博多祇園山笠が奉納される由緒ある神社であり、創建は757年と伝えられる。樹齢1000年といわれる銀杏の木や飾り山など見所たっぷりだ。境内にある「博多歴史館」の豊臣秀吉の朱印状や10分の1サイズの古代山笠、迫力に富んだ山笠のビデオなども面白かった。



櫛田神社で博多情緒を味わったあと、地下鉄に乗って西新に向かった。お目当ては福岡タワーである。地上123メートルにある展望室からは、福岡の街並みや博多湾など360度のパノラマが楽しめた。今回は天気が良く、とりわけ博多湾の景色やウォーターフロント開発を眺めることができた。



夕方、博多駅近くで九州郷土料理の店に入った。本当は中州の屋台でじっくり博多の味を楽しみたかったが、最終の新幹線に間に合わない。それで駅近くの店を選んだが、九州各地の郷土料理と焼酎が堪能できて大満足であった。

(2010年5月5日 記)